



19-1. 民主的学校づくり

「学校とは何か?」「学校とはどうあるべきか?」が問われています。そしてGIGAスクール構想、学校DXなど、学校のあり方そのものが変えられようとしています。本分科会では、子どもたちの願いや意見から出発した学級・学校づくりをどのように進めていくか、学校のあるべき姿と切り結びながら、みなさんと希望ある学級・学校・職場づくりについて議論ができればと考えます。みなさんの実践をぜひお寄せください。

19-2. 父母・地域住民との共同、教育条件整備の運動

子どもたちの豊かな成長を保障する教育を行うためには、教育条件の整備が欠かせません。またその実現のためには、学校だけではなく、父母・地域住民との共同が必要です。コロナ禍で様々な活動が制限され、社会情勢の厳しさも増す中でも、各地で目の前の課題に果敢に向き合う活動が続けられています。分科会では、各地の活動を交流し、共同の力での教育・子育ての道筋を探っていきます。

21. 環境・公害問題と教育

本分科会では、持続可能な社会への道筋を明らかにすることを研究目標のひとつにすえて、身近な環境問題、公害問題を市民グループの実践や教育実践・教材分析などで報告・交流してきました。

今年度も感染症や自然災害まで含めて、子どもたちが主権者として正しい科学的知見をもとに、真実を求め、未来へつながる社会を展望する教育について、レポート報告、フリートーク、ミニ講演等を行いたいと考えています。

23. 教育課程・行事づくりと教科書問題

学校の教育課程編成に関わる問題で、万博「子ども無料招待」が始まっています。これに関して問題点や成果など積極的なレポートを求めます。またこの1、2年間、子どもとどのように関わり実践してきたか、①学級や学年のとりくみ、②教科、③行事や特活、④学校全体など、1つの小さな実践でも持ち寄りましょう。教科書の内容、学習指導要領やデジタル教科書などの問題点も考えましょう。

24. 生活科・総合学習

私たちは、生活科を「自然・社会・ヒト」を学ぶ科学的認識の土台作りの教科として位置づけ、総合学習を、教科学習とも連動し、「いのち・くらし・地域・環境」等を豊かに学び合う場として大切にしてきました。画面上だけではなく、ホンモノに触れる感動ある学びをどう作っていくか、実践を交流しあいましょう。

25. 登校拒否・不登校

2023年度小・中学校の登校拒否・不登校数は、11年連続の増加で34万6482人と史上最高を更新しました。文科省の不登校対策(COCOLOプラン)は「個別最適化」の名のもと対策の外注化を図るだけです。これではますます登校拒否・不登校が増加することは避けられません。この分科会は、教職員や相談員と親たちがともに登校拒否・不登校について考える場となっています。お互いの悩みや経験・取り組みを、レポートをもとに交流し学び合いましょう。

今年度から分科会の再編を行い、「父母・地域住民との共同、教育条件整備の運動」と「教育課程・行事づくりと教科書問題」が新たな分科会として開かれます。積極的なレポート登録をお願いします。

下記の分科会は今年度は開催しません。

14. 幼保小接続期の教育

15. 思春期・青年期の進路

全体会

「大丈夫だと思える場」を育てる
～対話を通して見える世界～

ながい れい

永井 玲衣 さん 哲学者・作家

人びとと、ききあい考えあう対話の場を各地でひらいている。
著書に『水中の哲学者たち』（晶文社）『世界の適切な保存』（講談社）ほか。

八尾市立文化会館 プリズムホール地下2階小ホール

アクセス 近鉄「八尾」駅中央北出口を出て右へ200m徒歩5分

開場 13:00 / 開会 13:20

保育(託児)を希望される場合は、10月2日(木)までに下段の実行委員会まで申し込みをお願いします。

教育のつどい大阪

2025 中河内ブロック

2025
10/11
土曜日



教育のつどい大阪は、教職員や父母、市民が集まり、市町村や校種を超えて工夫や悩みを気軽に話し合える場です。

レポート登録はこちら



◀登録は左のQRコードから
○分科会レポート登録 9月2日(火)まで
大阪教職員組合のホームページからもアクセス
できます。 <http://www.daikyoso.net/>

レポート提出を
Eメールで行う場合

daikyoso@daikyoso.jp

メールの場合は、件名を「教研レポート登録」とし、メール本文に、

①発表を希望する分科会 ②レポートタイトル
③市町村・学校名(または団体名) ④お名前 ⑤住所
⑥電話番号 ⑦レポート要旨 ⑧報告にあたっての要望
上記を必ず記載してください。

やむを得ずFAXにてレポート登録を提出する場合も上記の内容を記載してください。
※レポート登録を受信した旨の返信がない場合、エラーの可能性
があります(返信は月～金で行います)。

■レポート報告は、パワーポイントを使う場合も必ず紙媒体でレジュメを分科会当日にご用意ください。レジュメなしでの報告は認めないものとします。

■パソコンを使用する場合は、報告者自身でご用意ください。

■感染症や災害などによって、実施できない場合があります。大阪教職員組合のホームページにて告知しますので、必ず事前にご確認ください。

教育のつどい大阪2025実行委員会

〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館706 大阪教職員組合内
TEL:06-6768-2330 / FAX:06-6768-2239
E-Mail:daikyoso@daikyoso.jp

2025年7月1日発行

分科会

教科別分科会

11月9日(日) 教科別分科会 午前の部10:30～
午後の部13:30～

会場 | 東大阪市立楠根東小学校

アクセス 近鉄けいはんな線・地下鉄中央線「長田」駅2番口より徒歩12分
※会場周辺はお静かに。会場にはスリッパをご持参ください。

1. 国語教育

認識力と表現力を育てる国語教育をどのように進めていくかを交流したいと思います。中でも、文学を文学として読むことの意義をふまえて、教材研究のあり方や様々な指導方法等について話し合っていきたいと思います。説明文の指導についても交流し合いましょう。また、書くことの意味、読み合うことの意味をおさえ、子ども一人ひとりの課題や思いをどう受けとめ、どのように書く力を伸ばしていくのか、共に考えましよう。

2. 外国語教育

(1)なぜ、何のために外国語を教え、学ぶのか。(2)学習指導要領や教科書の検討とよい教材とは何かについて。(3)外国語教育の現状とあり方について。(4)小学校「外国語」「外国語活動」をどう考え実践していくのか。(5)児童・生徒の意欲を引き出す授業づくりと協同学習。(6)映画や音声・ICTなどを活用した授業づくりと自己表現活動で楽しい授業をどうつくるのか。

3.社会科教育

科学と事実に基づき、地域の主人公としての子ども、主権者を育てる社会科教育をすすめます。発達段階をふまえた実践を研究・討議し、社会科の学力とは何かをあきらかにします。学習指導要領の問題点を明らかにし、平和と民主主義、人権尊重、科学的な認識を育てる授業の交流を深めます。若い先生に明日からの授業づくりの力になるようなわかる授業、楽しい授業、教材の交流をします。

4.算数・数学教育

授業をする者なら、誰もがくわかってできるたのしい授業がしたい>と思っています。しかし、現実には「朝の会から計算練習」「時間に追われながらの授業」と難しい条件が山積みです。あらためて「子どもたちにどのような学習が必要なのか」を議論し、それを実現するための専門的力量を共有しましょう。知恵を出し合い、くわかる・できる・たのしい授業>を実現するために学びましょう。

5.理科教育

非系統的で画一的な学習指導要領、学力テスト至上主義などさまざまな問題が、子ども達を学ぶ楽しさや、自然を深く理解する喜びから遠ざけています。また、若い先生を中心に「自然科学を深く学び、授業に取り入れたい」「子ども達の発達課題について学びたい」といった声は強くなっています。日々の授業実践やプラン、教材を交流することで「すべての子どもたちに豊かな自然認識を育てる」授業のありかたを考えていきたいと思います。

6.美術教育

美術教育は子どもたちに生きる喜びを与え、豊かな人間性を育むために必要不可欠な教科です。参加者の授業実践や子どもたちの作品をもとに以下のことについて学び、考えましょう。①子どもたちの実態や発達を考え、生活実感に根ざした表現、豊かな感性を育む指導。②発達保障の観点から手仕事を通し、主体的につくる喜びを味わうことができる指導。③作品鑑賞を通し、作品との対話の方法や美を感じる喜びを味わうことができる指導。④実践する中での悩み事困り事など遠慮なく出し合い交流しましょう。

7.音楽教育

※今年度は午前みの開催です。

多種多様な文化、表現活動があふれているなか、子どもたちとつくりあげていく音楽活動はしっかりとした教材選択と教材分析のうえで、学習活動に織り込んでいけたらと思います。この分科会では、日頃の子どもの様子を交流しながら、自分たちの実践を語り合い、音楽の楽しさを実際に体感しながら音楽の世界を深めていけたらと考えています。

8.技術・職業教育

≪中学校技術≫生徒のやる気を引き出した実践を持ち寄しましょう。「実情に合わない学習指導要領」「授業時間数が足りない」「多忙で授業の準備ができない」「設備が整っていない」「技術の免許を持った教師が少ない」など日頃の悩みについても話し合いましょう。≪職業高校≫日頃の授業の取組や実践報告を中心に置き、合わせて学校の現状や課題、困りごとを共有し、地域社会とのつながりやかかわり方を考え、交流を深めたいと思います。

9.家庭科教育

小・中・高で学ぶ家庭科の内容の交流や実践を持ちより、魅力あふれる教材や実践の交流をしましょう。①地域・家庭との連携を深めながら、科学的認識や基本的技能を育てる教育内容を考えあいましょう。②日本の農業生産と関連づけた食料自給について学びあいましょう。食の安全についても考えあいたいと思います。③主体的な学びへとつながる教材の研究と新学習指導要領の検討をし、家庭科教育の意義を交流しましょう。

10.体育・健康・食教育

子どもたちをとりまく環境は、自然環境の悪化、コロナ禍による教育情勢の変化、親の多忙化など生きづらい現状にあります。年々複雑になるアレルギー、食生活のあり方、自然災害による食糧問題が深刻化しています。日々の実践を体育、保健、食育の分野から報告し参加者で交流を深めます。そして、子どもたちの安心安全な生活が保障され、自ら健全な心身を養うための知識を身につけられるような手立てを話し合いたいと思います。



11.生活指導・自主的活動

- ①日々の教育実践のなかで、学級・学年・学校の集団づくりを、どうすすめていくか。
 - ②集団づくりの基礎として子どもたちの心をどう理解し、どのように信頼関係を築いていくか。
- 互いに苦労話、失敗例、成功例の経験を交流し、解決の方向を探り、確信に結びつくような議論にしたいと思います。

問題別分科会

11月22日(土) 問題別分科会 午前の部10:30～
午後の部13:30～
会場 | 東大阪市立盾津東中学校

アクセス | 近鉄けいはんな線「吉田」駅出入口1から徒歩16分
※会場周辺はお静かに。会場にはスリッパをご持参ください。

12.発達・評価・学力問題

※今年度は13:30~開催します。

報告者のレポートをもとに、「学力づくり」「授業づくり」について学び、交流します。今、学校現場はコロナ禍を契機として、授業時間を確保すること、ICT機器を使うことが優先され、子どもたちに学力をつけることが軽視されがちになってきました。そのことにともなって、子どもたちの学力低下の実態が見えにくくなっています。この分科会では、学力づくりの重要性を確認し、参加者のみなさんと考えたいと思います。

13.障害児教育

障害児者の教育や福祉に冷たい昨今の情勢の下でも、特別支援学校の設置基準を策定させ新校を整備させるなど、運動の力による前進もありました。「権利としての障害児教育」に確信を持ち、真のインクルーシブな社会や教育の実現を目指しましょう。特別支援学校・学級・通級・通常学級・放課後の場などでの、障害のある子どもたちの育ちの事実を交流し、私たちの実践を深めましょう。

17-A.人権と教育

児童・生徒の基本的人権を守り育てる教育実践や教育運動を交流したいと思います。私たちがすすめる人権の教育は、教育の自由、研修の自由が保障されたうえで、子どもたちに確かな学力と生きる希望を育む認識を育てるものです。憲法と子どもの権利条約が生きる教育をすすめましょう。各職場でおこなわれている多様な人権にかかわる教育実践を持ち寄り、交流しましょう。

17-B.ジェンダー平等の教育

子ども達や父母の願いや要求をもとに、進路・労働・家庭・性に関する課題を出し合い交流しましょう。子どもも大人も人間らしく豊かに生き、成長できる社会をつくるために学びあいましょう。

18.平和と国際連帯の教育

「紛争地の子ども 人権侵害4万件」国連は6月19日、「子どもと武力紛争」年次報告で、2024年に子どもに重大な人権侵害が確認されたと明らかにしました。前年比25%増で、過去最悪です。イスラエル・アメリカによるイラン先制攻撃などは人類の到達点である国連憲章・国際法違反です。核兵器による威嚇、軍事費増で「人間の安全保障」が深刻です。平和と国際連帯について語り合いましょう。